

令和7年度 井原市がんばる地域応援補助金第2次採択事業一覧

	地区	事業名	事業内容	人口増を 目指した事業	事業計画額 (円)	採択額 (円)
1	木之子地区 振興協議会 計113万円 (うち人口増 53万円) +1次採択37 万円 =150万円(う ち人口増53万 円)	木之子地区自主防災 事業(継続)	地区内を統括する木之子地区たすけあい防災会議が 主体となって、地区民の防災意識の高揚や、防災に 関する知識の普及などを目的に、木之子地区の「防災の 日」に、希望地区を対象とした避難訓練や啓発事業を 中心とした防災訓練を実施する。		100,000	100,000
2		きのこふれあい クリスマス会2025 (継続、人口増)	地元小学校の木に電飾を施し、地域の大人から子供ま で参加したツリー作りを行い、約1カ月間点灯する。 12月中頃に、各種団体などが中心となりイベントを開 催する。	○	550,000	430,000
3		きのこの偉人 顕彰事業(継続)	木之子地区に係る偉人(馬越恭平翁)の顕彰を行う事 業を通して、地区民の郷土愛を醸成し、将来Uターン 等木之子への帰郷、定住を促進する。 各種イベントを実施することにより偉人に対する意識 を一層インパクトの強いものとする。また、市外からの 訪問者にPRし、交流人口の増加を図る。 ○地元への貢献の周知 ○講演会の開催 ○児童の郷土愛の醸成 ○その他		200,000	200,000
4		おらがまち事業 2025 (継続)	①町内の良いところ、自慢できるものの写真や木之子 の昔の風景などの写真を募集し、木之子のいいところ マップ「一押し！ふるさとときのこ(仮称)」やカレンダー などを作成し、町内外へ配布、木之子の良さを知って もらうとともに、町内外の交流を図る。 ②案内標識の設置 上記マップの作成に伴い、名所旧跡等を案内する標識 を設置する。		250,000	230,000
5		きのこ夏フェス 2025 (継続、人口増)	新たな風物詩を創生することで、郷土愛の醸成と世代 間交流を図る。 ○ふるさと花火 ・花火の打ち上げを行う。 ○大人フェス ・大人が参加できる大エビス会を開催。 ※盆踊り・子供向けの出店も行う。	○	1,000,000	100,000
6		木之子三世代交流 グラウンドゴルフ大会 (継続)	自治会や各種団体から参加者をつのり、子供から高齢 者までの年齢層が参加して、グラウンドゴルフ大会を 開催する。		70,000	70,000

令和7年度 井原市がんばる地域応援補助金第2次採択事業一覧

7	県の里まちづくり推進協議会	地元の一番開発事業 (継続)	耕作放棄地対策と特産品づくりのために、次の事業を実施する。 ①サツマイモを使った焼酎造りを継続し、特産品としての位置づけに力を入れるとともにサツマイモ生産を地域農業の産物として広めていく。 ②サツマイモ(黄金千貫)や、「きくいも」を原料としたチップス製品やペットフードの可能性を探る。 ③蕎麦栽培が生産拡大の可能性を探る。 ④地域内の無人販売所の継続運営 ⑤苗物生産のためのビニールハウスの検討		338,000	338,000
8	計85万8千円 (うち人口増52万円) +1次採択60万円 =145万8千円(うち人口増52万円)	「ふるさとかかし」「かかしコンテスト」等による地域活性化事業 (継続、人口増)	大人を含め、次代を担う子供達を巻き込み、少しでも農業について考えるとともに、市内外の多くの人々との交流を図る。 ①「ふるさとかかし」づくり講座の開催 ②他地域との「ふるさとかかしづくり交流講座」の開催 ③かかしコンテストの開催 ④市南部の各地域による「かかしロード」構想実現に向け、他地域との調整 ⑤かかし広場の整備 ⑥かかしコンテスト会場ほか、空地への花の苗を植栽	○	350,000	350,000
9		あがた未来プロジェクト支援事業 (新規、人口増)	児童が10年後、20年後も住みたい、帰りたい故郷づくりを願いを発端に、かかし広場一帯をイルミネーションで彩り、年末年始の交流人口の増加に繋げる。子供たちを核とした実行委員会でプロジェクトを進める。	○	170,000	170,000
10		空き家活用事業 (新規、人口増)	空き家の有効活用を図り、景観悪化対策や防災防犯のリスク低減、地域コミュニティの活性化、定住促進等、交流人口の創出を目指す。 ①空き家所有者との交渉 空き家の現地調査を行い、物件をリストアップするとともに、マッチングを見据えた使用条件を所有者と交渉する。 ②空き家の簡易改修 利用可能と判断された空き家に対し、自前で行える範囲の修理・改修を実施。	○	350,000	345,000
11	野上地区まちづくり協議会 計69万円(うち人口増45万円) +1次採択73万6千円(うち人口増25万3千円) =142万6千円(うち人口増70万3千円)	里山活用事業 (新規)	野上町への移住を促進するため、間伐材を用いたシタケの栽培を行うこととし、市外移住希望者を対象とした菌打ち作業等のワークショップ開催する。 また、都市部の参加者については、菌打ちした原木を持ち帰ることが困難であるため、まちづくり協議会で一括して預かり、収穫までの管理を行う。		245,000	245,000
12		野上小学校魅力発信事業 (新規、人口増)	野上小学校の認知と魅力を高める広報活動を展開することで、特別学区制度を活用した他学区からの通学希望者の増加を目的とする。あわせて、現学区で不安のある児童保護者に向けた選択肢として紹介し、学びの場の多様性を確保する。 ○チラシ作成および配布 学校の特色、児童の様子、特別学区制度の案内を含んだチラシを作成し、周辺地域の公共施設等に配布。 ○地域SNSでの情報発信 地域コミュニティのLINE公式アカウント等を利用し、学校生活の様子やイベント情報を発信。 ○他学区から通う保護者を交えた相談会の開催 実際に野上小に通っている児童の保護者を招き、学校選択の理由や通学状況などをシェアする「学校説明&相談会」を開催。	○	100,000	100,000

合計
(うち人口増)

3地区
(3地区)

12事業
(6事業)

補助期待額(円) 採択額(円)
3,723,000 2,678,000
2,520,000 1,495,000